



研究テーマ

源氏物語の構造

古典的視点から見た現代マンガ・アニメの分析

宮崎の神楽の分析



山田 利博

やまだ としひろ
教育学部
国語教育講座

教授

キーワード

日本古典文学、平安朝散文、中古文学、源氏物語、枕草子、竹取物語、物語構造、機能的人物論、手習歌、男踏歌、初瀬、石山、引用、引歌、パロディ、マンガ、アニメ、セーラームーン、犬夜叉、ふしぎ遊戯、サクラ大戦、プリキュア、宮崎の神楽、潮嶽神楽、桐尾神楽

特許情報・
共同研究・
応用分野など

特許なし。この分野では取れません。
プロジェクト研究と共同研究は宮崎の神楽の研究で、科研費を取ったこともありますし、現在は県と提携して、宮崎の神楽の悉皆調査とデータベースの構築を行っています。
次はマンガを解析することにより、日本文化の本質を浮き彫りにしたいと思っていますので、その方面に関心のある方と是非共同研究してみたいです。
日本では縦書きが当たり前のマンガが他の国では横書きになりますので、言語学・図像学等の異分野の方大歓迎です。

研究概要

周知の如く源氏物語は虚構作品である。つまり現実には何も存在しないのだから、何をどう書こうと良さそうなものであるが、実際にはそうっていない。では何故そういう形でなければならないのだろうか。基本的にはそうした作品の構造を解析しており、近年ではそれにまつわる周辺事項(関連する同時代の作品とか現代に於ける影響とか)も研究している。

1 研究テーマ1 源氏物語の構造解析

源氏物語にはムダなシーンはなく、古来ムダといわれてきたシーンにも、物語的意味があることを明かしている。

また、源氏物語中の人物は実在するわけではなく、「作中人物」なのだから、みな何らかの「役目」を帯びており、そういう人物として、その機能を解析する必要があることを説いた(博士論文・右の拙著を参照してください)。



2 研究テーマ2 古典的視点から見た現代マンガの分析

世界的にも有名な日本のマンガ・アニメは、やはり伝統的文化の流れの中から誕生したものである。したがって、それを解析することにより、日本文化の姿が浮かび上がってくる(左の拙著を参照してください)。

3 研究テーマ3 宮崎の神楽の分析

周知の如く宮崎は神楽の宝庫であり、その研究はこれまでももちろん存在する。しかし、当たり前のことだが、神楽とは動きと音曲を伴う芸術作品であり、そういう意味ではこれまでのような書籍形態で記述するにはふさわしくないし、VTR も、見たい所作の頭出しが大変である。そこで、DVD を主体としたデータベースの構築と、それに基づく新しい研究形態の模索を、科研費を取得して行った。

2013 年度からは県の、みやざきの神楽魅力発信委員も務めている。

ホームページ

山田研究室 [http:// www.cc.miyazaki-u.ac.jp/t-yamada/yamada.html](http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/t-yamada/yamada.html)

技術相談に応じられる関連分野

- ・現代人に親しみやすく古典を教える、あるいは学ぶ方法
- ・神楽の見どころ、舞の意味等
- ・古典に学ぶ人生訓

メッセージ

古典は決して言葉だけを学ぶものでも、現代と隔絶したものでもありません。例えば三か月で大人になり、その後年を取らないかぐや姫の成長は、古代人が竹の成長から発想したのと言われ、意外に植物学の知識が必要になりますし、環境問題・経済問題への応用も可能です。また、皆さんだって仏滅に結婚式を挙げる度胸は余り無いでしょうし、宮崎大学にすら、4 番と 9 番の教室はありません。このように、古典を身近な問題として見返していただきたい。きっと人生がもっと楽しくなるはずです。